育成 モノづくり人材 Vol. 1

栃木県立真岡工業高校

資格取得に工業人の誇り

栃木県立真岡工業高校は「実践的な技術者育成」と「資格取得」に力を注いでいる。卒業生は産業界からの評価も高く、モノづくりの現場で広く活躍する。〝仕事の現場〟を常に意識した人材育成は「就職率100％」という形で成果を表している。

小林校長

生徒たちは卒業までに平均3―4の資格を取得する。2・3級技能検定（普通旋盤作業や大工工事作業）や第3種電気主任技術者、測量士補に加え、溶接や危険物取扱者、CAD検定などと幅広い。

「資格は工業人としてのプライドにつながる」と語る小林校長も実際に資格を取得し、生徒たちの資格勉強をサポートする。

生徒が〝工場〟と呼ぶ機械実習棟では、野球部やサッカー部など「機械研究部」に所属する生産機械科3年生の清水幸大さんが旋盤加工の練習に汗を流す。清水さんは6月に行われた「高校生ものづくりコンテスト」の栃木県大会機械系部門で優勝。次のステージは9月に埼玉県で開かれる関東大会だ。

「モノづくりにあこがれて工業高校に入学した。卒業までに旋盤の操作技術を少しでも向上させたい」と意欲を語る。指導役の石塚利生実習教員は技能士1級の持ち主。県内の工業高校教員でも技能士1級を持つ教員は極めて珍しいという。

「うちは大きな高校ではないが、熱心な教員や確かな腕を持つ技術指導員が多くいる。モノづくりに少しでも興味があれば〝入学資格〟がある」と小林校長は熱を込める。

（栃木・小野里裕一）

◇

モノづくりの復権に向け、製造現場では多くの優秀な人材が求められている。産業界のニーズ、意欲の高い生徒のために教育カリキュラム・設備の充実が進む工業高校など人材育成現場の現在を追う。

（金曜日に掲載）

【DATA】▷校長＝小林綱芳氏▷所在地＝栃木県真岡市▷学科構成＝機械科、生産機械科、電子科、建設科▷総定員＝480人▷主要設備＝旋盤、フライス盤、3軸マシニングセンター、コンクリート万能試験機▷主な進路＝ミツトヨ、花王、千住金属工業、日産自動車、真岡製作所、コマツ、宇都宮大学、群馬大学、足利工業大学、作新学院大学など

▲清水さん㊨の旋盤加工を指導する石塚先生

無断転載・複写禁止 ㈱日刊工業新聞社